

当院の胃 MALT リンパ腫に対する

治療成績についての検討

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

胃マルトリンパ腫はヘリコバクターピロリの感染が原因であることが多く、治療のひとつにヘリコバクターピロリの除菌療法があります。ヘリコバクターピロリが陰性の方に対しては除菌療法の効果が少ないとも報告されており、陰性の方に対して除菌療法をまず施行するかどうかは未だ意見の分かれているところです。今回当院における胃マルトリンパ腫に対する治療の有効性、治療開始から治癒するまでの期間を評価し、ヘリコバクターピロリ陰性の場合除菌療法が有効であるかどうかを検討しました。除菌療法は他の治療（抗がん剤や放射線治療）と比較し副作用が軽微であり入院を要さない点でメリットがあります。さらに治療費の軽減にも寄与する可能性があります。

研究期間

2021年3月1日から2024年2月29日（3年間）の予定

研究の対象となる方

2004年1月から2020年12月の間に日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科で胃MALTリンパ腫と診断された方。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、鎮痙剤の有無別に病変検出率に差があるかどうかを統計学的に調査します。

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出

します。また研究用パソコンは、インターネットにつながません。論文化から 10 年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されま
す。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせくだ
さい。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

重里 徳子 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

岩上 裕吉 消化器内科 副部長

山下 幸孝 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20